

## 「計画理念等に関するご意見募集」 集計結果

### 計画理念に関してのご提案

都市と地域をつなぎ、北国の“ゆとりライフスタイル”を先進的に結ぶ都市交通  
 ゆとりある環境、資源が豊かな北海道において、札幌の都市交通が地域の顔、モデルとなり「省エネ」「E C O」など環境先進型交通モデルを実施。地元と観光客に密着した都市交通のモデルプランを「環境・観光立国」として実践していくべき。  
 元気な経済・環境・社会を生み出す持続可能な北国・札幌の都市交通を実現する。  
 暮らしやすく、働きやすい、持続可能な雪国・札幌の持続可能な交通を実現する。  
 北国の特性に対応した都市の持続的発展と市民生活を支える総合交通体系を実現する

### 計画理念・基本方針に取り入れるべき考え方やキーワード

札幌のよさ：都会と田舎（豊かな自然）の共存  
 電車・車でちょっと走ったら、都会にも田舎にも行ける市は全国をみてもそうないのでは。

都会もありつつの雪国

市民＝そこに住む人と観光客にとって住みやすい・わかりやすい・移動しやすい街

食べ物・景色は一流だが、サービスが二流という声も・・・それに対する取組

「札幌」のことをすぐに連想できるワード

今後の方向性の柱（大きなもの）となるワード

1) 環境 2) 市民の足 3) 活力

基本方針でさらに細分化されるので、理念にはあまり多く入れなくてもよいのでは。

計画理念は、札幌市が今後10年間で最も重点的に資金を投じて取り組む交通施策を一言で記すのがよい。

その交通施策が何か（幹線道路、路面電車、市内バスの維持、あるいは全く別なこと、それはこれからの議論による）

安易に「市民目線」（生活の視点）云々を計画理念に用いることは、誤ったイメージを広める懸念があり、反対。

これからの交通、特にバスや鉄道などの交通サービスは、あたかも天から降って

くるようなものではなく、また普段使わなくても万一の時にはいつでも使いたいからあったほうがよいというものではなく、市民一人一人がその維持のために主体的に行動することが望まれる時代。地域住民が主体となり地域の足を確保する取組みが札幌でも求められる時代が来るのでは。

基本方針のエッセンスが計画理念になるものとするれば、基本方針が5項目では総花的で多すぎる感じがする。もっと絞り込んで？

道央圏マスタープランの計画理念として「暮らし」「活力」「環境」を掲げていることから、計画理念においては『暮らし（生活）を支える』という主旨のキーワードが必要。

基本方針において、『活力（経済）』に関するキーワードが必要

経済・環境・社会の持続可能性を三位一体で両立させることを目指す交通

積雪時期に強い交通を目指しながら、積雪条件にとらわれない交通政策

例えば「歩行者＞公共交通＞自転車＞業務用自動車＞自家用自動車」というような優先順位を考える

環境目標と連携、低炭素社会を強く意識し、実現する交通

大動脈と生活道路を明確化（子ども・お年寄りが快適安心安全な道）

つながる公共交通

「住み・働き・憩うという生活を支える」「医療や教育のサービスを楽しむ」「都市を支える」=人間らしい生活を支える交通サービスを提供する

交通需要を「予測し予防する」アプローチへ

行政、企業、市民の協働：行動変化と費用負担の合意形成